

平成27年度第2回二宮町下水道運営審議会次第

日 時 平成27年9月30日(水)

午前10時00分～

場 所 二宮町役場第1会議室

1 開 会

2 町長あいさつ

3 二宮町公共下水道使用料の改定について(諮問)

4 会長あいさつ

5 議 題

(1) 二宮町公共下水道使用料の改定について

(2) 二宮町下水道事業中期経営計画の中間報告について

(3) その他

6 閉 会

平成27年度第2回下水道運営審議会出席者名簿

平成27年9月30日

No	氏 名	地 区	備 考	任 期
1	桑原 英俊	—	議会議員	平成28年3月31日
2	井上 良光	— 色	学識経験者	平成28年3月31日
3	黒木 勇	富士見が丘	学識経験者	平成28年3月31日
4	菊田 稔	—	学識経験者(県企業庁平塚水道営業所長)	平成28年3月31日
5	海野 淳	—	学識経験者(県下水道公社業務部長)	平成28年3月31日
6	松尾 武保	富士見が丘	排水設備設置義務者及び使用者	平成28年3月31日
7	添田 米美	元 町 北	排水設備設置義務者及び使用者	平成28年3月31日
8	村田 耕一郎	越 地	排水設備設置義務者及び使用者	平成28年3月31日
9	市来 裕子	緑 が 丘	排水設備設置義務者及び使用者	平成28年3月31日
10	越地 祐佳	百 合 が 丘	排水設備設置義務者及び使用者	平成28年3月31日
11	土谷 美智代	元 町 南	排水設備設置義務者及び使用者	平成28年3月31日

※順不同



二 第 1321 号

平成 27 年 9 月 30 日

二宮町下水道運営審議会
会長 井上良光 殿

二宮町長 村田 邦



二宮町公共下水道使用料の改定について（諮問）

下水道は、将来にわたり快適な生活環境と公共用水域の水質保全を図るために欠くことのできない重要な施設であります。

二宮町の公共下水道事業は、都市計画事業の一環として市街化区域の整備を順次行っており、平成 26 年度末の整備率は全体計画の約 72%である 377.9ha となり、下水道人口普及率は約 85%となっています。

過去に 2 度の使用料改定を行い、平成 26 年度における汚水処理費の下水道使用料による経費回収率は 70.8%となりましたが、不足分は依然として一般会計からの繰出金で補填している状況であります。

町財政を取り巻く環境が厳しさを増す中、一般会計からの繰出金については抑制が求められているため、一般会計への依存を極力減らし、長期的に自立・安定した経営基盤を築く必要があります。

また、公共下水道事業は地方財政法上の公営企業とされ、経営の基本的考え方は独立採算制を原則としています。そのため、経費節減等の経営努力と水洗化率の向上を図りながら、使用者に適正な負担を求めて、経営の健全化、安定化を図っていく必要があります。

つきましては、下水道事業の管理運営費に充てる適正な下水道使用料についてご審議していただきたく、二宮町下水道運営審議会条例第 3 条第 1 項第 2 号に基づき諮問いたします。

平成 27 年度
二宮町下水道運営審議会

下水道使用料検討資料

平成 27 年 9 月 30 日
二宮町都市経済部下水道課

目 次

1. 下水道使用料の適正化について

(1) 使用料改定の必要性 P 1

(2) 使用料改定の考え方 P 2

2. 二宮町における2ヶ月あたりの区分別

下水道使用状況（平成26年度実績値） P 3

3. 経費回収率の変動に伴う経営状況の推移見込 P 4

1. 下水道使用料の適正化について

(1) 使用料改定の必要性

下水道は、快適な生活環境と公共用水域の水質保全を図るために欠くことのできない重要な施設です。

二宮町における公共下水道事業は、都市計画事業の一環として市街化区域の整備を積極的に推進しており、平成3年度に整備を開始して以来、整備済み面積は平成26年度末で全体計画の約72%が終了し377.9haとなり、人口普及率も県内町村の平均79.7%を上回り、84.6%となっています。

下水道事業については、地方財政法の規定により特別会計を設け、その経費は経営に伴う収入をもって充てなければならないものとされており、独立採算の原則が適用されています。また、「雨水公費・汚水私費の原則」に基づき、汚水処理にかかる経費は、一部を除き下水道使用者の皆様にご負担いただく下水道使用料で賄うことが原則とされています。

この原則に基づき、平成11年に下水道使用料にかかる条例を制定して以降、経営の健全化を図るため、平成21年7月に8%、平成24年7月に平均20.4%増の改定を行い、平成26年度末における汚水処理費の下水道使用料による経費回収率は70.8%に達しておりますが、使用料収入で賄うべき汚水処理経費のうち、維持管理費については使用料収入で賄っていますが、資本費については使用料収入で賄いきれず、一般会計からの繰出金で補填している状況が続いています。

今後、流域関連市町の下水道整備の進捗による汚水量の増加や処理施設の耐用年数を迎えた機器の補修など、汚水処理施設の維持管理に係る費用負担の増に伴い、維持管理費が増大することが予想され、如いては資本費に充てられる額が少なくなることにより、一般会計からの繰出金で補填する額が増えることが懸念されます。

このような状況を踏まえ、快適な住環境と公共用水域の水質保全の維持継続を図るため、一般会計への依存を極力抑制し、長期的に自立・安定した下水道経営の基盤を築くため、経営努力と水洗化率の向上を図ることはもとより、下水道使用者に適正な使用料負担を求め、経営の健全化・安定化を図っていく必要があります。

(2) 使用料改定の考え方

町では、下水道による生活環境の改善を重要施策と位置づけ、整備普及に努めてきました。

下水道使用料については、経営の健全化を図るため、平成21年7月に8%、平成24年7月に平均20.4%の料金改定を行い現在にいたっており、平成26年度末における使用料単価は133.7円/m³、経費回収率は70.8%となっています。

今回の改定の考え方は、前回の改定から3年を経過したこと、また、前回の使用料改定に関する答申において「今後の使用料改定については、下水道事業の経営状況の推移に注視すると共に、本町の財政状況、社会経済情勢、並びに近隣市町村の状況等を考慮しつつ、一般会計からの繰入金の減少を図るため、適時に使用料の見直しを検討されたい。」とされていることを踏まえ、快適な生活環境と公共用水域の水質保全を継続できるよう下水道経営を維持するため、下水道利用者のご理解のもと経費回収率85%を目標に、下記の内容で下水道使用料について改定の検討をいただくものです。

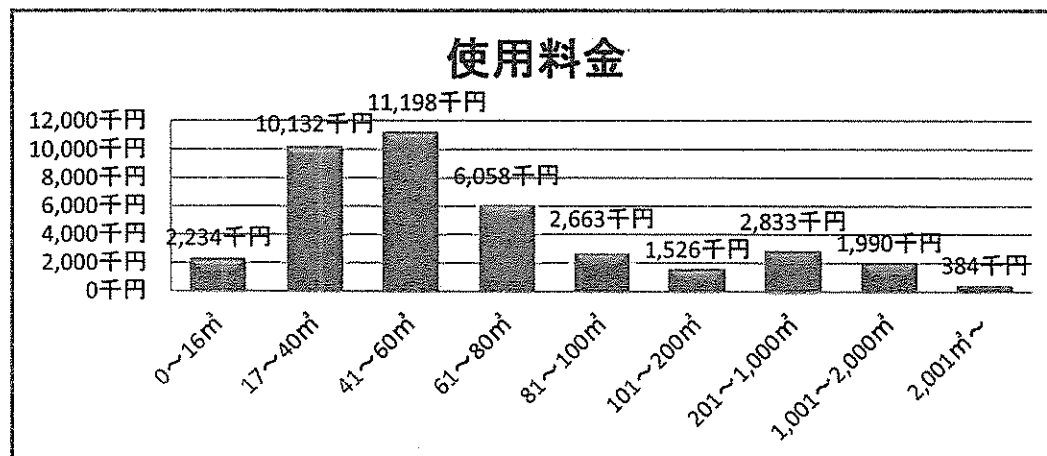
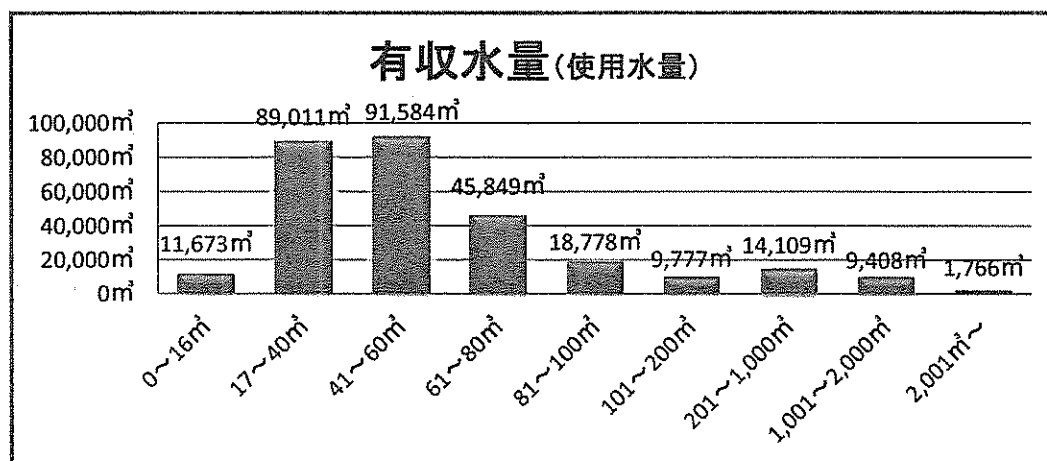
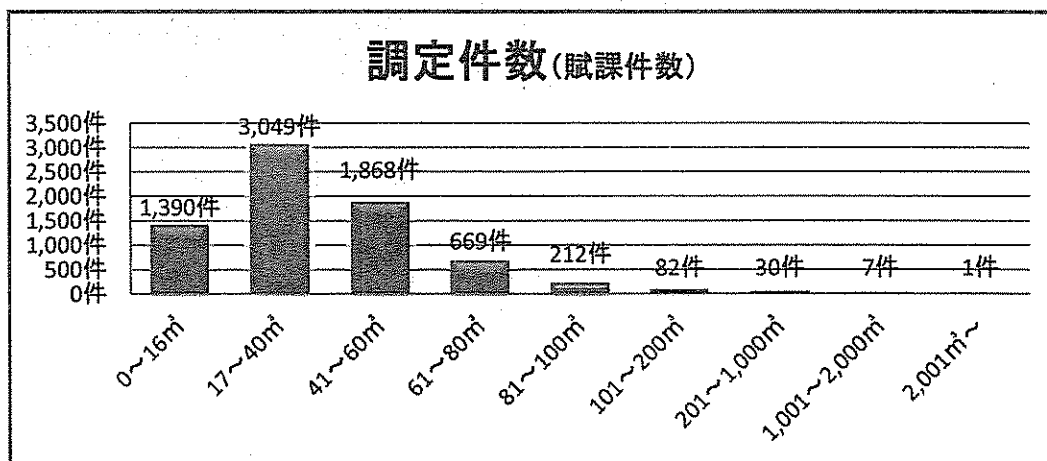
1. 改定予定期日：平成28年7月1日
2. 算定期間：平成28年度から平成30年度
3. 使用料体系：現行の使用料体系を継続
(基本使用料併置、従量・累進制)

2. 二宮町における2ヶ月あたりの区分別下水道使用状況(平成26年度実績値)

(神奈川県企業庁との上下水道一括徴収調定実績より)

区分別	超過料金 (1㎡あたり)	調定件数	構成率	有収水量	構成率	使用料
0~16㎡	※	1,390件	19.02%	11,673㎡	4.00%	2,234千円
17~40㎡	116円	3,049件	41.72%	89,011㎡	30.49%	10,132千円
41~60㎡	136円	1,868件	25.56%	91,584㎡	31.37%	11,198千円
61~80㎡	158円	669件	9.15%	45,849㎡	15.70%	6,058千円
81~100㎡	170円	212件	2.90%	18,778㎡	6.43%	2,663千円
101~200㎡	184円	82件	1.13%	9,777㎡	3.35%	1,526千円
201~1,000㎡	198円	30件	0.41%	14,109㎡	4.83%	2,833千円
1,001~2,000㎡	212円	7件	0.09%	9,408㎡	3.22%	1,990千円
2,001㎡~	227円	1件	0.01%	1,766㎡	0.60%	384千円
計		7,308件	100.00%	291,955㎡	100.00%	39,018千円

※ 0~16㎡は基本料金(1,560円)のみ



3. 経費回収率の変動に伴う経営状況の推移見込

・経費回収率別の使用料単価及び使用料収入の推移見込

区 分			28年度	29年度	30年度
年間有収水量(m ³)			1,805,300 m ³	1,832,400 m ³	1,859,900 m ³
経費回収率	使用料単価(改定率)	使用料収入(使用料単価×年間有収水量)【①】			
現行	70.8%(H26実績)	134円/m ³ (現行)	241,910千円	245,542千円	249,227千円
A	75%とした場合	142円/m ³ (+5.9%)	256,353千円	260,201千円	264,106千円
B	80%とした場合	151円/m ³ (+13.0%)	272,600千円	276,692千円	280,845千円
C	85%とした場合	161円/m ³ (+20.1%)	290,653千円	295,016千円	299,444千円

・汚水処理費の推移見込(参考)

区 分			28年度	29年度	30年度	
使用料対象経費	維持管理費	直接的経費	管渠費	11,155千円	11,944千円	12,789千円
			ポンプ場費	0千円	0千円	0千円
			処理場費	0千円	0千円	0千円
		間接的経費	業務費	44,433千円	46,170千円	47,976千円
			流域下水道維持管理負担金	116,767千円	116,407千円	118,584千円
			小 計	172,355千円	174,521千円	179,349千円
	資本費	減価償却費	0千円	0千円	0千円	
		地方債元金償還費	173,304千円	171,728千円	172,207千円	
		地方債利子償還費	8,323千円	7,786千円	7,163千円	
		小 計	181,627千円	179,514千円	179,370千円	
使用料対象経費(維持管理+資本費)合計【②】			353,982千円	354,035千円	358,719千円	

・経費回収率別の使用料収入不足額(使用料収入－使用料対象経費合計)の推移見込

区 分			28年度	29年度	30年度
経費回収率	使用料単価(改定率)	使用料収入－使用料対象経費合計 (【①】－【②】)			
現行	70.8%(H26実績)	134円/m ³ (現行)	△112,072千円	△108,493千円	△109,492千円
A	75%とした場合	142円/m ³ (+5.9%)	△97,629千円	△93,834千円	△94,613千円
B	80%とした場合	151円/m ³ (+13.0%)	△81,382千円	△77,343千円	△77,874千円
C	85%とした場合	161円/m ³ (+20.1%)	△63,329千円	△59,019千円	△59,275千円

二宮町下水道事業中期経営計画

中間報告（案）

平成27年10月

二宮町都市経済部下水道課

目 次

1	下水道事業の現状	1
2	事業運営の基本方針	2
	（1）計画の位置づけ	
	（2）計画の期間	
	（3）事業運営の目標と達成状況	
3	事業計画と達成状況	3
	（1）財政収支計画	
	（2）中期指標	
	（3）主要整備計画	
	（4）投資計画	
4	経営基盤強化への取組による効果	6
5	計画達成状況の公表	6
	（1）公表の方法等	
	（2）公表の内容	
	用語解説	7

平成25年3月に策定した二宮町下水道中期経営計画（計画期間：平成25年度～平成28年度）の達成状況について、平成25、26年度の決算に基づき、次のとおり中間報告します。

1 下水道事業の現状

本町の下水道は、酒匂川流域関連公共下水道として、平成2年に都市計画法及び下水道法の事業認可を取得し、平成3年から工事開始、平成11年4月には酒匂川流域下水道川勾ポンプ場の完成と同時に川勾・山西地区の一部が供用開始となりました。

平成26年度末の整備済区域面積は377.9haとなり、人口普及率は84.6%、水洗化率は73.4%となっています。

汚水幹線整備は、山西汚水幹線を残し概ね終わり、市街化区域の面整備を優先して下水道処理区域の拡大と水洗化の促進を行っています。

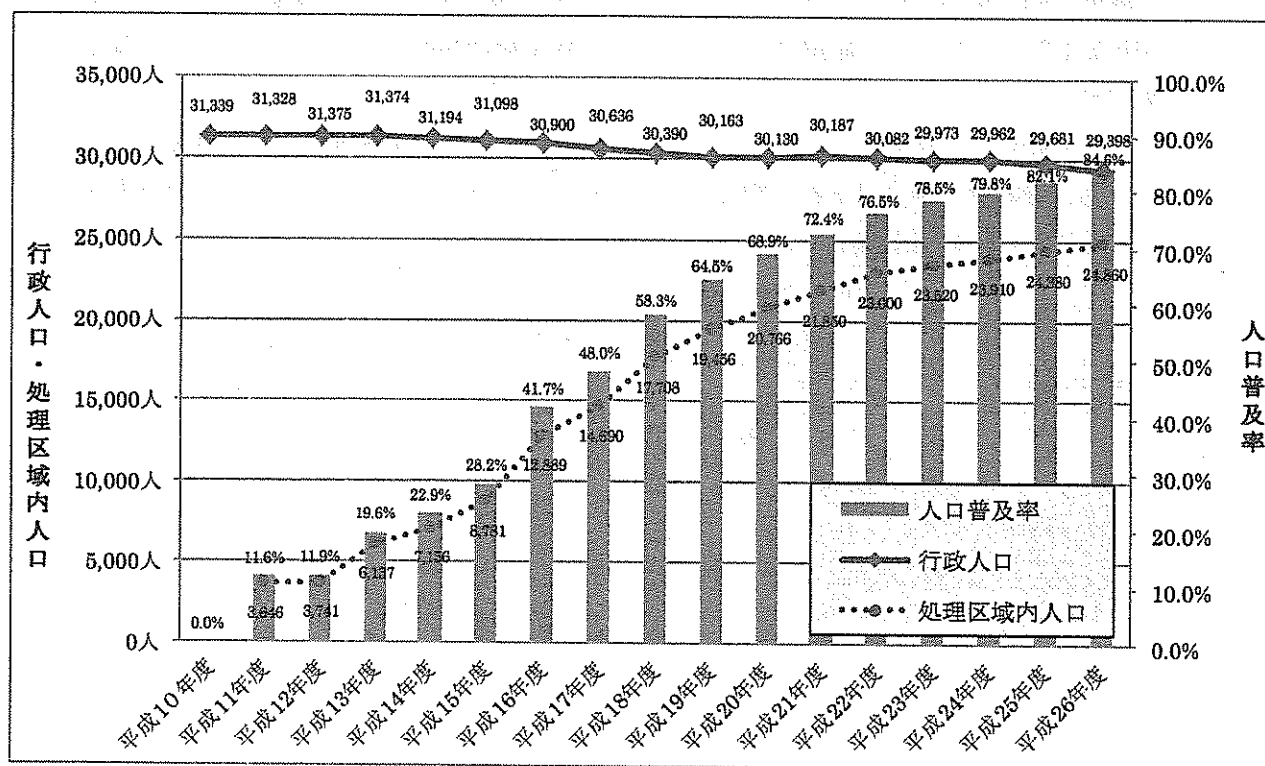


図1 行政人口、処理区域内人口及び人口普及率の推移

2 事業運営の基本方針

(1) 計画の位置づけ

本計画は、これまでに策定された行政改革大綱や集中改革プラン、公的資金補償金免除繰上償還に係る経営健全化計画等を踏まえて、下水道経営の健全化・効率化を図ると共に経営基盤を強化するための計画とし、平成22年度に策定した「二宮町下水道中期ビジョン」の実現を目指して、下水道事業の中期的な経営方針及び事業計画を示したものです。

(2) 計画の期間

計画期間は、平成25年度を初年度とし、平成28年度までの4年間とします。

(3) 事業運営の目標と達成状況

経費回収率が目標値を上回った理由は、近年、国からの交付金が減少されたことにより整備面積が縮小したことに伴い、起債額(使用料対象経費のうち資本費にあたる部分)を縮減したことにより、使用料収入で賄うべき汚水処理費が少なくなったことによるものです。

しかしながら、依然として本来使用料収入で賄うべき使用料対象経費(汚水処理費)のうち、資本費の半分以上を一般会計からの繰入金に依存しているため、引き続き使用料の適正化など経営基盤強化に取り組めます。

項目	平成23年度 (実績)	平成26年度 (中間報告)	平成28年度 (目標)
処理区域内人口	23,520人	24,860人	25,350人以上
人口普及率	78.5%	84.6%	85%以上
水洗化率	71.2%	73.4%	75%以上
経費回収率	48.9%	70.8%	55%以上
町債残高	69億円	65億円	63億円以下

3 事業計画と達成状況

(1) 財政収支計画

① 収支計画

(単位：千円)

項目			23年度	24年度	25年度	26年度
収 入	受益者負担金 (H25より分担金を含む)	計画		33,873	9,069	16,162
		実績	26,751	34,924	13,245	15,674
	下水道使用料 (手数料を含む)	計画		212,122	226,319	236,691
		実績	182,516	216,512	232,240	235,212
	国庫補助金	計画		70,700	120,000	105,000
		実績	90,000	70,700	95,800	114,000
	一般会計繰入金	計画		348,658	370,927	399,682
		実績	342,124	343,038	365,628	379,821
	町債	計画		156,800	254,700	203,200
		実績	167,100	152,400	176,500	219,200
その他	計画		18,083	15,336	5,438	
	実績	25,062	17,707	25,401	17,646	
合 計	計画		840,236	996,351	966,173	
	実績	833,553	835,281	908,814	981,553	
支 出	維持管理費	計画		176,542	191,389	191,796
		実績	163,698	173,079	182,132	181,987
	整備事業費	計画		198,010	326,987	271,356
		実績	216,264	186,923	235,431	289,740
	公債費	計画		450,864	477,975	503,021
		実績	435,884	456,156	476,417	494,682
	合 計	計画		825,416	996,351	966,173
		実績	815,846	816,158	893,980	966,409

② 起債残高

(単位：千円)

項目		23年度	24年度	25年度	26年度
町債元金 残高	計画		6,830,362	6,765,588	6,624,116
	実績	6,926,101	6,785,662	6,642,687	6,517,670

(2) 中期指標

水洗化率は、平成26年度末現在で計画に達していません。また、大型店舗や一般家庭の節水により、年間有収水量が平成26年度に初めて減少に転じました。

今後も人口減少や節水志向による排水量の低下に伴う有収水量の減少が見込まれるため、引き続き地区説明会やイベント会場でのPR、供用開始の通知文書のポスティング、下水道整備済区域の未接続世帯に対する戸別訪問による接続勧奨を実施し、水洗化率の向上及び年間有収水量の増加を図り、計画達成に努めます。

項目		23年度	24年度	25年度	26年度
人口普及率 (%)	計画		79.5	81.3	82.0
	実績	78.5	79.8	82.1	84.6
水洗化率 (%)	計画		73.3	73.6	74.0
	実績	71.2	72.6	73.1	73.4
使用料単価 (円/㎡)	計画		123	130	130
	実績	108	124	131	134
汚水処理原価 (円/㎡)	計画		226	242	238
	実績	221	191	190	189
経費回収率 (%)	計画		54.4	53.7	54.6
	実績	49.1	64.8	68.9	70.8
年間有収水量 (千㎡)	計画		1,725	1,741	1,821
	実績	1,686	1,746	1,772	1,752

(3) 主要整備計画

No	事業名		事業期間	事業概要
1	山西汚水幹線整備	計画	25年度、27年度	事業計画区域の拡大により、越地・釜野・百合が丘1丁目地区への接続に向けて汚水の幹線管渠の整備を行います。
		実績	25年度、26年度	平成25年度及び26年度に越地・釜野地区（一部）を整備しました。
2	汚水枝線整備	計画	25年度～28年度	収入基盤強化のため枝線管渠の整備を行います。
		実績	25年度、26年度	平成25年度に越地・釜野・百合が丘1丁目・北新道地区、26年度に越地・釜野・百合が丘2丁目地区を整備しました。
3	雨水浸水対策	計画	25年度、26年度	北新道地区の浸水対策として、雨水管渠の整備を行います。
		実績	同上	平成26年度に完成しました。

(4) 投資計画

(単位：千円)

No	事業名		25年度	26年度
1	山西汚水幹線整備	計画	180,000	—
		実績	52,447	102,060
2	汚水枝線整備	計画	42,000	205,000
		実績	94,531	124,545
3	雨水浸水対策	計画	95,000	50,000
		実績	81,375	47,368
合計		計画	317,000	255,000
		実績	228,353	273,973

4 経営基盤強化への取組による効果

収入の水洗化率の向上は、下水道接続件数の増加による使用料収入の増加額を目標としました。

(単位：千円)

項目			25年度	26年度
収入	水洗化率の向上	計画	2,900	1,300
		実績	3,120	2,212

5 計画達成状況の公表

(1) 公表の方法等

最終報告は平成29年10月頃に、町ホームページ等で公表します。

(2) 公表の内容

中期経営計画に示した計画数値と実績値を比較した達成状況を報告します。

用語解説

用語	解説
起債	公共下水道を整備するために必要な財源の不足分を、年度を越えて長期（1年以上）に借り入れるお金のこと。
人口普及率	下水道事業の進捗を表す指標。 下水道を利用できる区域内の人口÷行政人口
水洗化率	下水道を利用できる区域内の人口に対して、下水道に接続している人口の割合を表す。
有収水量	下水道使用料の対象となる水量
使用料単価	1 m ³ の汚水に対し、いくら使用料を徴収しているかを表す。 使用料収入÷年間有収水量
汚水処理原価	1 m ³ の汚水をいくらの経費で処理しているかを表す。 汚水処理費÷年間有収水量
経費回収率	汚水処理にかかる施設の維持管理費や資本費が、どれだけ使用料で賄われているかを表す。 使用料単価÷汚水処理原価